

北京外國語大學



Beijing Foreign Studies University
北京外國語大學 中文学部

北京外國語大學

中文学部 東京事務所

特定非営利活動法人 国際交流教育後援会

〒160-0023 新宿区西新宿7-2-10 栄立新宿ビル301
TEL (03)3363-0578 FAX (03)3371-2278
e-mail: info@pekingaidai.gr.jp



学校法人 東京国際学園

東京外語専門学校

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-3-8
TEL (03)3367-1101(代)

WEB www.pekingaidai.gr.jp

f Tokyo Bfsu

北京外國語大學 中文学部 東京事務所 Twitter ▶ [@bfsu_kousaka](https://twitter.com/bfsu_kousaka) (P19)

短期留学のご案内 (P20)



メッセージ

コメント／教育理念

カリキュラム／学習システム

コメント／国際交流教育後援会

卒業後の進路

在学生の声

私たちの1年

卒業生の声

キャンパスライフ

北京（所在地）



青葉しげるキャンパスのメイン通り



キャンパスの一角



中文学部内広場



アラビア語学部



北京の4年間で きみを変える。

北京外国語大学は、1941年中国・延安に創設された「延安ロシア語学校」を源流とする伝統と歴史を誇る大学です。創設以来、幾多の優秀な卒業生を送り出し続け、中国国家中枢はもとより世界に活躍する人材を輩出してきました。

現在では、22の学部で680人以上の専任教育陣を有し、特に外国語学部は101言語の外国語を教育する中国国内でも有数の教育機関で、国の重点大学

の一つに指定されています。

1992年、北京外国語大学と香坂順一国際交流学院長（当時）との協定により、国際交流学部を設立しました。

その後、アジア各国の留学生に門を開き、さらに近年、目覚ましい中国の社会発展に伴う欧米など世界50カ国余りの国々から集まる留学生の増加と、全学の国際交流事業の充実に即して「中文学部」（原名は中国語言文学院）と名称を改め、発展を続けています。



空から見る東キャンパス全体図

中国トップレベルの 外国語大学への誘い



北京外国語大学
学長 楊丹

北京外国語大学は北京市海淀区西三環北路に位置し、三環路を挟み東西二つのキャンパスに分かれております。本学は中国の教育部（日本の文部科学省にあたる）が直轄し、中国で初めて「211工程（中国全国で約100校の指定重点大学）」と「985工程（世界レベルの大学を構築するため211工程より選ばれた約40校の重点大学）」対象校に指定され、さらに最初に「双一流（世界一流大学・世界一流学科）」に指定された高等教育機関でもあります。

本学は中国共産党によって創設された最初の外国語高等教育機関で、前身は1941年に建学された延安外国語学校です。新中国成立後は外交部（日本の外務省にあたる）の管轄に属し、1954年に北京外国語学院と改称され、1980年以降は教育部の管轄となり、1994年に北京外国語大学に改称されました。

現在、北京外国語大学では101の外国言語の授業を開講しており、これは現在中国と国交のあるすべての国の公用語の授業を開講していることとなります。また、本学には121の専攻科があり、うち44の専攻科は全国でも本学にしかない専攻科となっており、現状では国家重点学科は4科、北京市重点学科は7科を有しております。現在、約5,600人の本科大学生、約3,100人の大学院生（修士・博士生）、約1,600人の留学生が学んでおります。

人材管理システムの刷新により、教師陣のレベルを全面

的に引き上げ、現在の教職員数は1,200余名で、教師の90%以上は海外での教学経験を有しております。また、世界60の国と地域から招聘している外国籍教員は200名近くにのぼっております。

過去70数年にわたり、本学は中国と世界の懸け橋となるべく人材の育成に尽力し、国内の最も優秀な外交官、政治家、弁護士、記者、学者、実業界のリーダー、そして数多くの専門人材を育成し、中国国内では「共和国外交官のゆりかご」という栄誉を得ております。

私たち北京外国語大学はすべての学生に家族のような温かさ、同時に厳格で多様な学科のカリキュラムを提供しています。小さくとも学生一人ひとりを大切に、学生の誰もがワクワクするような大学生活を過ごしてもらっています。北京外国語大学では、学生の誰もが自分の学問的潜在能力を発掘でき、多様なサークル活動を享受でき、広範な社会的実践に参加するチャンスを得られると、私たちは信じています。

皆さまが北京外国語大学で学ばれることを心より歓迎いたします。ここでは、多種多様な文化を体験できる上に、あなたの独特な個性を持ち続けることができます。北京外国語大学では、皆さまにとって最良の学業と個性を伸ばす機会を提供しています。



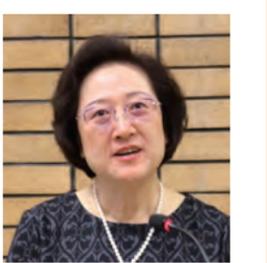
北京外国語大学
中国語言文學院
(中文学部)
学部長
詹福瑞

北京外国語大学は教育部直轄の全国重点大学の一つであり、中国の高等教育機関の中で最も長い歴史を有する、最も多くの言語を教授する、教育体系を完備している外国語大学です。

北京外国語大学中国語言文學院（以下、「中文学部」とする）は中国人学生教育と留学生教育を一体化した教学研究機関であり、中国で最も早くに留学生を受け入れ、留学生教育にたずさわった学部であり、中国で最も早くに中国語国際教育専攻科（対外中国語専攻科の前身）と中国語国際教育修士専攻科を設置した学部の一つです。本学部は多岐の分野にわたる学科を有し、経験豊富で、職務に熱心な人材をそろえています。現在は専任教師が70名近く、兼任教師が60名近くおります。そのうち高位職階の教師は全教教師の50%を占め、博士学位を有する者は全教師の56%を占めます。また大多数の教師は海外での教学、職務経験を有しています。

中文学部は高度にグローバル化された学部であり、その下に中文学科、対外中国語学科と中国語研修訓練センターという三つの教育部門があります。本学部の全専攻科はいずれも世界に向けて新生を募集し、また国家漢弁（国家漢語国際推広領導小組弁公室〔国家漢語国際普及指導グループ事務局〕の略称）の新中国学計画の受講生を受け入れ、育成しています。

現在本学部の国内外を合わせた在学学生は1,300名近く、内訳は中国人学生600名近く、留学生700名近くとなっています。留学生は世界の50余カ国から、中国人学生は国内各地から来ております。同じ学部で学び、同じ教室で授業を受け、自由に交流することで、他では得難いグローバルな学習環境が形成されています。中国と外国の学生の学習のために異文化交流のプラットフォームを構築し、学生たちの学習効果と異文化コミュニケーション能力を著しく向上させています。



北京外国語大学
中国語言文學院
(中文学部)
執行学部長
張曉慧

中文学部の本科留学生教育は、中国語に精通した、中国文化および国情に熟知した優秀な人材の育成を目標としています。4年制本科留学生の募集は春期と秋期に分かれており、現在約700名の在校生がおります。

中文学部の本科留学生教育は1992年に始まり、今では整った教学モデルとカリキュラムを構築しており、教学全体設計、カリキュラム編成、テストと評価、教学指導と授業評価制などを含む総合的な教学管理制度を確立しています。知識の体系性はもちろんのこと、学生の言語コミュニケーション能力の育成にも非常に力を入れています。専攻に関しては、中国語専攻を基礎に、中国語語学、文学文化、経済貿易、中外翻訳、中国語教員養成の5つの専攻コースがあります。

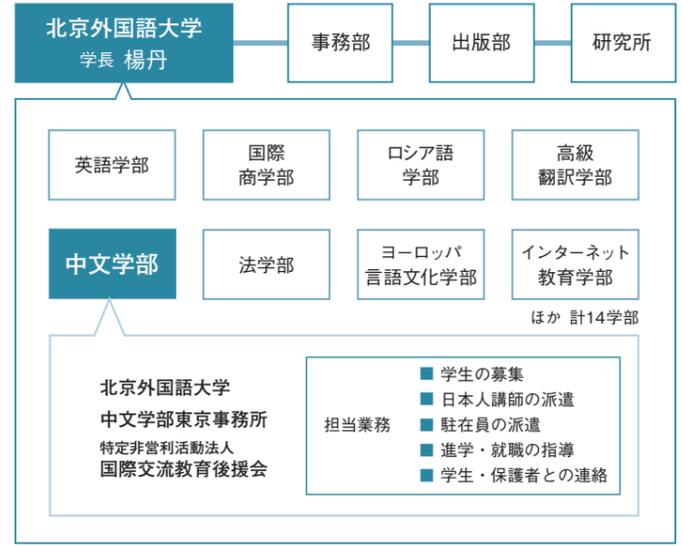
長年にわたり中文学部は日本、韓国、マレーシア、タイなどの大学と学術交流およびパートナーシップを築いてきました。日本のNPO国際交流教育後援会、マレーシア政府、マレーシア・マラグループなどは毎年選抜した学生を中文学部に派遣しています。また、外国の大学と連携して本科留学生を育成するダブルディグリー（2学位取得）プログラムもあり、「2+2」、または「3+1」の方式で協力しています。

本学部はこれまでに2,000余名の本科留学卒業生を送り出しました。卒業生はそれぞれ世界各国の教育、文化、経済貿易、外交などの分野において活躍し、中国とほかの国々との協力および交流に積極的に貢献しています。

中文学部の機構と組織

中文学部では、留学した日本人学生が勉強に専念できるよう、万全の機構と組織を整え、自然に恵まれた環境・寮・教育設備をもっています。

また授業は北京外国語大学の現役教授と、日本から派遣する日本人派遣講師で構成するカリキュラムによって行われ、学生が安心して生活・勉強できるよう国際交流教育後援会が派遣した駐在員が多岐にわたってサポートしています。



北京外国語大学中文学部 URL: <http://iei.bfsu.edu.cn> ※友情リンク(友情链接)から本学部の東京事務所のホームページにアクセスできます。

皆さんの将来への夢を大きく実現させてください

特定非営利活動法人 国際交流教育後援会 理事長 武田 哲一



今や、世界第二位の経済大国になった中国。日本を始め世界は、中国経済と密接な関係なしに成り立たなくなっていると言っても過言ではないでしょう。また、中国語を母国語とする人口は、中国語を公用語とする中国、台湾、シンガポール(大中華圏)以外にも、世界中に分布しており、まさに世界一です。

このような状況下、今、中国では留学生が急増しています。北京外国語大学も同様に、韓国や日本は勿論、北米や欧州からも多くの留学生を受け入れています。元々、外交官や通訳者養成を目的として、留学生を積極的に受け入れて来た北京外国語大学は、中国では最重点大学の一つであり、超難関校としても知られています。もちろん、その中国語教育レベルの高さは世界トップクラスと言えます。しかも50カ国以上の留学生が集うキャンパスはウルトラグローバル。留学生受け入れ環境も抜群で、温泉プールにスポーツジム、カフェは、夜遅くまで、各国からの留学生の活気で満ちあふれています。卒業された学生にとりましては、延期になりましたが、東京オリッ

ク開催という、大きな国際社会としての目標であり、国際人としての活躍の場も控えています。

我がNPO法人が提供する北京外国語大学中文学部正規留学プログラムは、学内では、敬意を持って「香坂班」と称される日本人留学生だけのために設けられた特別なプログラムです。ゼロスタートから4年間で学位取得を目指す正規留学プログラムは、世界でも類を見ないのではないのでしょうか。NPOでは、北京外国語大学中文学部の東京事務所として、受け入れ窓口の役割を担うだけでなく、組織された保護者会と密接に連携、入学後の学習・生活指導、卒業・学位取得支援そして就職支援に至るまでの支援体制を取っています。

大学との強い連携により、学部内に、専用の常設事務所を設置、法人職員1名を常駐させています。どんな緊急時にも最良の対応が可能な体制は、必ずや、皆さんの中国留学を成功に導くはずで、4年間の北京留学はきみを変える——中国語そして中国を学び、皆さんの将来への夢を大きく実現させてください。

香坂順一教育理念について

井戸を掘った人の名は消えない

日本有数の中国語学者・香坂順一は、大東文化大学学長のときに実現した北京外国語大学との間の固い提携を基盤に、同大学長の退任前後に交渉を重ね、1992年、長年の夢であった日本人留学生のための4年制本科、「国際交流学部」(現中文学部)設立の協定を結びました。

日本人学生の理想的な教育環境を作り上げたいという香坂順一の熱情に、中国政府・大学側も最大の厚意で応え、同大学および他国からの留学生と異なる学制を設けて、日本社会の慣例に沿った4月から3月の学年度、日本人講師による教養課程の履修などが認められました。さらに卒業によって、北京外国語大学の卒業証書、学士号証書の授与が定められました。この留学システムは、中国はもとより、世界においても稀有のものといえましょう。

中国には、「井戸を掘った人を忘れぬ」という成句があります。

香坂順一と北京外国語大学が、未来を築く共通の理念と、努力を惜しまぬ共同の作業で設立したこの学部は、時代の

元NPO法人
国際交流教育後援会名誉会長
故 香坂 順一



【プロフィール】

大正4年(1915年)6月7日生、昭和13年東京外語支那語部卒業、中国嶺南大学(現中山大学)修了。横浜高商、台北高商、台湾大学法政学部、大阪市立大学教授、北京大学外籍教授、大東文化大学学長、日本中国語検定協会理事長、北京外国語大学董事(理事)などを歴任。主著「現代中国辞典」「水滸伝語彙の研究」「白話語彙の研究」「中国語大辞典」(角川書店)など。平成15年(2003年)7月22日没。

変遷とともにアジア・欧米の学生にも門戸を開き、名称も変わりました。しかし北京外国語大学は、この留学システムを、今も公式に「香坂班」と呼んでいます。



日中青少年交流推進年オープニングセレモニー

キャンパスではもちろん、キャンパスの外へ出て学びます

中文学部留学生本科教育の特徴

- 専攻コース選択。本科1、2年次は専攻コースを分けません。3年次より学生の興味と希望に基づき、中国語コース、経済貿易コース、中国語教師コースなどの専攻コースを選びます。
- カリキュラム設計。本学部のカリキュラムには必修課程、専攻選択課程、普通選択課程および種々の自由課程があります。加えて、「香坂班」には日本語による一般教養課程もあります。また、複数の外国語課程、例えば英語、日本語、アラビア語なども開設しています。
- 学生の知識面を広げるために、中国文化と風土・世情、現代中国の政治と経済に対する理解を深めるために、4年次の第1学期に上海、杭州、蘇州などの地を巡る卒業実習を実施しています。
- 卒業論文指導科目を開設し、4年次に卒業論文指導教員を配置し、学生の卒業論文の具体的な指導と内容のチェックを行っています。
- 奨励制度。品行方正かつ学業優秀な学生については、国家奨学金、孔子学院奨学金などの申請を奨励しています。このほかに本学部は「優秀学生賞」「優秀班長賞」「優秀卒業論文賞」「皆勤賞」などの表彰も行っています。

学期ごとの語学実践と文化体験イベント

- 技芸大会、作文コンクール、弁論大会、テレビ弁論大会、運動会、週末映画鑑賞、中国語コーナー、国際美食祭り、新年演芸の夕べなどのイベントを定期的に開催し、学生の中国語コミュニケーション能力を高められるよう工夫を凝らしています。また、本学部の留学生は全国規模あるいは北京市のコンクールにおいて優秀賞を多数獲得しています。
- 授業の延長上に、学習への意欲と情熱を刺激し、中国社会への理解をより深めてもらうために語学実践と中華文化の体験を行っています。
 - 北京市内：万里の長城、故宮博物院、頤和園など北京市内の名所旧跡への観光旅行や、中国カンフー、切り紙細工、泥人形作りなどの民俗芸能鑑賞
 - 北京市外：天津、承德、上海、西安、青島、安徽黄山、山東曲阜、山西平遥などの地域に出かけ、現地の人たちとの交流、工場や農村の見学、名所旧跡巡りなど

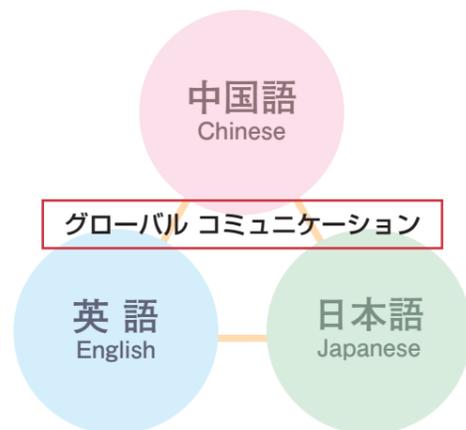


2020年1月 卒業式合同記念撮影

中文学部ならではの 独特のカリキュラム・学習システム

中国語・英語・日本語の3カ国語教育

国際社会で活躍できる人材の育成を第一に、中国語教育を柱に、英語、日本語を組み合わせた高い水準のカリキュラムを編んでいます。中国の重点大学である北京外国語大学の優れた教授陣のほか、特に日本人の派遣講師による講義も取り入れるなど、他に見られない独特のカリキュラム構成が特色です。



- Point 1** 優れた教師陣が中国語の講義を行います。語学に留まらず、中国の文化・歴史、政治・経済の素養も同時に学んでいきます。
- Point 2** 世界へ羽ばたくために不可欠な英語教育にも力を入れます。
- Point 3** 日中間のより深い相互理解のため、それぞれの国の言語比較や歴史・文化などについて学びます。
- Point 4** 教養科目として、日本から派遣講師を招いて、日本語表現法、文化、経営学、政治・経済学などを学んでいきます。



中国語教育 少人数で密度の高い授業を実践します。

英語教育 直接法と間接法の授業の併用でより高い学習効果を引き出します。

日本語教育 日本語の表現力と日本を学び中国語能力の向上へとつなげます。

中国語はまったくの初歩から始めます。また、日本と違い1クラス10名から20名の少人数で密度の高い授業が行われます。語学は知識として学ぶと同時に、活用できる技能のひとつとして身につけられるように口移しの学習が重視されています。

これから交際社会に出ようとする人にとって英語の習得は欠かせません。授業は日本語で行うのではなく、英語で教える直接法、また中国語を媒介とした間接法の併用によって一段と学習効果が高まります。教授法が日本とは異なりますので、初歩から教えるというかたちで取り組むこととなります。

中文学部では、日本から講師を派遣し、教養科目を日本の大学と同じように講義します。この制度は北京外国語大学との協定により教育部（日本の文部科学省にあたる）の認可を受けている、ほかの大学には見られない特別なものです。いかに中国語ができていても中国語から日本語への的確な翻訳・通訳をするためには、高い日本語の表現力が不可欠です。また、母国の文化を学ぶことは、外国語の能力を高める必須条件なのです。講師は学内の宿舎に滞在していますので、皆さんの将来についての相談にも親身になってくださることでしょう。

- 基礎中国語（初級・中級・上級）
- 中国語会話
- 中国語ヒアリング
- 中国語文章表現
- 中国語視聴覚
- 中国語新聞雑誌閲読
- 中国語翻訳実践
- 中国語誤用分析
- 中国語概論、経済貿易中国語

- 英語総合（初級・中級・上級）
- 英中翻訳英語演習

北京外国語大学 中文学部 対外中国語学科課程

※カリキュラムは年度により変更されることがあります。

第1学年	●初級中国語総合	●中級中国語総合	●中級中国語閲読
	●初級中国語ヒアリング	●英語総合	●中国語文章表現入門
	●初級中国語閲読	●中国概況	●書道
	●初級中国語口頭表現	●中級中国語会話	●中級中国語慣用句
	●英語総合	●中級発音	●経済学入門

第3学年	中国語専攻・経済貿易コース	中国語専攻
	<ul style="list-style-type: none"> ●経済貿易中国語 ●経済貿易口頭表現 ●英語総合 ●電子商取引 ●国際商法 ●ビジネス文章表現 ●国際金融 ●国際貿易 ●中国語情報処理 ●管理学 	<ul style="list-style-type: none"> ●上級中国語 ●中国語視聴覚 ●上級中国語文章表現 ●上級中国語習慣用語 ●中国映画鑑賞 ●中国語情報処理 ●中級中国語 ●中国語概論 ●中国歴史 ●中級中国語文法

第4学年	中国語専攻・経済貿易コース	中国語専攻
	<ul style="list-style-type: none"> ●経済貿易上級中国語 ●経済貿易視聴覚 ●卒業実習 ●翻訳 ●卒業論文指導 ●卒業論文 ●マーケティング ●その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●上級中国語 ●翻訳 ●上級中国語視聴覚 ●文化伝播学 ●卒業実習 ●卒業論文指導 ●卒業論文 ●中国語誤用分析 ●中国語語彙通論 ●その他

北京外国語大学 中文学部 日本人派遣講師講義カリキュラム	
<ul style="list-style-type: none"> ●経済学概論 ●国際交流論 ●情報学概論 ●日中言語比較論 ●中国近現代史 ●経営学 ●日本語表現法 ●日中文化比較論 ●日本法学概論 ●哲学 ●心理学 ●メディアコミュニケーション ●中国現代経済論 ●その他 	<p>学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中国語スタディスキル（補習） <p>就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1年次 <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプラン入門 ◆3年次 <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプラン講座 就職活動基礎知識 自己分析 業界職種研究 模擬面接 履歴書の書き方 筆記試験対策 就業体験型 など ◆インターンシップ

北京の4年間は きみを変える

北京外国語大学
留学生弁公室
主任 李 氷



北京外国語大学は1941年に創設され、中国で最も歴史が古く、最も多くの言語を教授する教育体系を完備した外国語大学であり、また中国で最初に外国人留学生を受け入れ、中国語課程を開設した高等教育機関の一つでもあります。

北外は101の外国語言語、121の専攻科を有し、海外に23か所の孔子学院を有し、国内トップクラスに位置し、世界各地の400以上の大学と交流協定を交わしています。

北外は不断に多言語と活発な国際交流提携という優位性を活かし、大学の高品質な資源と連結し、外国人学生の募集および育成システムの新モデルを積極的に模索しています。2008年より、本学の留学生教育は非言語学科国際化課程へと一歩発展を遂げ、単一の中国語教育から非中国語教育と学歴取得教育への転換に成功しました。現在、本学の外国人学生募集業務と育成計画は絶えず整備され、一般中国語研修から学歴（学士、修士、博士）取得教育まで、数週間の短期強化研修から数年間にわた

る系統的学習まで多層的な教学体系を形成しています。

現在まで、本学はすでに外国人学生3万余名を育成し、卒業生は世界各国の外交、教育、新聞出版、経済貿易などの領域で活躍し、はなばなしい業績をあげています。北外には世界109か国の約1,600名近くの外国人学生が在籍しており、日本の高校生がここに学びに来れば、世界各地の友人と知り合いになることができます。

今後、私たちは従来どおり北京外国語大学の建学理念「外[外国語]、特[特色]、精[エリート]」と校訓「兼容蓄[異なるものを同時に受容する]、博学篤行[広く学び篤く行う]」の精神を受け継ぎ、本学の外国人留学生に対しては中国を知り、中国の友となるような人材になってもらうように育ててきています。思考弁別能力と異文化を乗り越える能力をもち、異文化への理解力が高い、卓越した競争力とグローバルに活躍できるハイスベックな人材を育成するよう絶えず力を注ぎます！

北京での留学生生活を サポートします。

国際交流教育後援会
北京事務所駐在員
松田 貴博



国際交流教育後援会の北京事務所は東院の中文部内にあります。駐在している私の主な業務は下記ようになります。

- (1) 学生の皆さんの生活上や学習上の悩み、困ったときの相談（毎年1回全員に個人面談を実施しています）。
- (2) 皆さんの中国語の学習に対するモチベーションの強化（学習方法のアドバイス、希望者への学習会実施、相互学習やランゲージパートナーの紹介）、就職活動のアドバイスなど。

(3) 成績表・出席表、学部から出される学務資料を本部へ伝達。学生の皆さんには、学習に専念してもらうよう支援いたしております。

一見4年間という留学期間は長いように思えますが、あっという間に過ぎてしまうでしょう。この4年間で皆さんがより実践的な中国語力を付けられるよう、人としてより成長できるよう、何よりも卒業するときに「北京外国語大学」そして「香坂班」の看板を背負い世界に羽ばたけるようサポートをしていきたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

入学から卒業・就職まで、 留学生生活をサポートします。

国際交流教育後援会が、勉強から私生活まで留学生生活を全面的にバックアップ。就業体験型インターンシップの実施、就職活動のサポートも行っていきます。困ったときには、一人で悩まないで北京駐在員にご相談ください。



2019年度入学式後の集合写真

私たち国際交流教育後援会は、北京外国語大学中文部の東京事務所の役割を担い、推薦入学、学費納入の代行、留学に必要な諸手続の代行、入学後の学習、生活指導、就職活動のバックアップ体制をとっています。日本では得難い恵まれた条件の中で4年間の充実した留学生生活を送れるよう、支援体制をとっております。北京外国語大学・中文部は、皆さんを心から待っています。

教育父母会との連携

■教育父母会とは

北京外国語大学中文部香坂班で学ぶ子供たちを持つ保護者で構成される、発足から24年の組織です。北京外国語大学・東京事務所と連携し、北京で学ぶ子供たちが学業に専念できるように、そして安心して生活できるようにサポートを展開しています。

■教育父母会の主な活動

年1回行われる通常総会において選定された役員が中心となり、以下の取り組みを行っています。一北京外国語大学・東京事務所から報告される現地動

向や学校行事などに関する、保護者向け情報発信（父母会ニュースおよびブログサイト）。北京で生活する子供たちに関わる各種課題解決に向けた活動、保護者からの様々な相談への対応。

■教育父母会定例会

毎月（1、2、8、9、11月を除く）開催する定例会では、北京駐在員からの最新情報を入手しています。また、集まった保護者間での情報共有やさまざまな相談を行える場と位置付けることで、離れた地で生活する子供たちに対する保護者の不安解消に役立っています。

■通常総会・懇親会

毎年7月に開催。通常総会では、父母会会員や在学生、NPO国際交流教育後援会の皆様にご出席をいただき、年次活動の報告や各種議案決議を行っております。また総会終了後、北京外大から招聘した先生の講演会を開催しています。先生方のお話を、日本で“生”でお聞きできることが、保護者の皆さまに好評です。懇親会は、父母会OBや卒業生もお招きして、盛大な交流の場となっています。

閲覧室の設置

学生寮の中にNPO法人が派遣する学生専用の閲覧室を設置しております。中国に関する書籍をはじめ、小説、ルポルタージュ、政治・経済・歴史関係など、さまざまな書籍をそろえ、学生の勉学や生活に役立つよう配慮しています。

香坂順一賞

2003年7月、中文部の設立に寄与された香坂順一先生の逝去の後、香坂家から寄託された基金により『香坂順一賞』が制定されました。この賞は毎年の卒業生の中から、香坂先生が理念とされた「学業修得とともに国際人としての人格を形成する」に最もふさわしい学生1名を選び授与するものです。



2020年卒業 香坂順一賞受賞者：下村祐実

就職活動をサポート

日本から専門的に就職活動を教授する講師を派遣し、就活の流れ、業界・職種研究、適性を見つけるための自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、筆記試験対策などの就職活動支援を行っております。さらに就業体験型インターンシップも実施しています。

毎年、卒業間近の4年生から後輩の学生に、就職活動の体験発表と相談会を提供してもらうのが伝統になっています。また、1年生対象に留学生活における学習や生活のアドバイスもされています。これらの活動を通して、学生間の絆がより深まっています。

〈模擬グループ討論〉



〈マイナビ国際派就職ガイダンス〉



〈1年生向けのキャリア形成〉



〈ACSA (アクサ) 就活セミナー〉



卒業後の主な進路

中文学部を卒業した先輩達は、日本や海外で夢を叶え活躍しています。

【食品・化学関係】 (株)伊藤園 伊藤ハム(株) (株)カネボウ コスモ石油(株) (株)資生堂 (株)松屋フーズ (株)吉野家ディーアンドシー ワダカン食品(株)	(株)光通信 富士通(株) フジテック(株) 松下電送(株) トランスコスモス(株) (株)ディスタントビューー 【不動産・建築】 (株)三栄建築設計	アパマーケティング(株) (株)ニデック (株)ヨドバシカメラ (株)ザ・ギンザ アデコ(株) (株)阪急阪神百貨店 【運輸・運輸機器】 鴻池運輸(株) (株)交洋 梱包運輸倉庫(株) アーク引越センター(株) オリエンタルモーター(株) (株)リアル	ライセンスアカデミー日本語学校 【公共事業・航空】 (助)沖縄県人材育成財団 日本放送協会 NPO法人国際交流教育後援会 成田国際空港(株) 中国東方航空 中国国際航空 中国春秋航空 【ホテル】 北京光明飯店 (株)パンパシフィックホテル (株)ホテルニューオータニ
【電気・再生エネルギー・機械関係】 沖電気工業(株) オムロン(株) 梶原工業(株) KOA (株) 日立電線(株) フナイ電気(株) (株)八幡ネジ べんてん(株) ミネベア(株) (株)ヤマダ電機 (株)YKK 日本分光(株) (株)Loop (株)多加良製作所	【商社関係・製造・小売】 (株)オンワード樺山 飯島物産(株) 伊藤忠商事(株) (株)イトーヨーカドー 江守商事(株) 大分キャンノンマテリアル(株) (株)カナモト 群馬友好貿易(株) (株)小泉 CBC (株) ジャスコ(株) (株)トミー (株)豊通マシナリー トランスコスモス(株) (株)ダイエー (株)ドンキホーテ 日通商事(株) (株)ニトリ 日立化成商事(株) (株)ビックカメラ (株)ファーストリテイリング 不二貿易(株) (株)イブサ	【銀行・金融】 野村証券(株) プレミアファイナンシャルサービス(株) (株)みちのく銀行 三井住友ファイナンス&リース(株)	【銀行・金融】 (株)オリエンタルランド 【国・公・地 公務員】 外務省 地方公務員 埼玉県警 埼玉県上尾市役所 東京都足立区役所 長野県松本市役所 栃木県宇都宮市役所
【情報通信関係】 (株)NEC ソフト沖繩 (株)NTT ドコモ (株)大庄 (株)ソフトバンク (株)デオデオ (株)デル	【観光】 (株)名鉄観光 (株)日本交通公社 よろずや観光(株) リゾートトラスト(株)	【学校関係】 NSG 新潟総合学院 東京ワールド外語学院	ほか多数

〈現地企業・団体〉 奥美工業(香港) 広東三洋科龍冷(広東) 東莞嘉財電子(広東) 南京日本語学院(南京) 光通信(大連) 北京日本学術研究センター ヒューレット・パッカード(上海) ヒューレット・パッカード(大連) 松下電子部品(天津) 北京光明飯店 集合智造(北京)科技有限公司

〈大学院進学先〉 【国外】 オークランド語学大学大学院(NZ) ハーバード大学大学院(米国) 北京外国語大学大学院(中国) 北京師範大学大学院(中国) 北京大学大学院(中国)	【国内】 愛知大学大学院 共立女子大学大学院 皇學館大学大学院 秀明大学大学院 攝南大学大学院 大東文化大学大学院 筑波大学大学院 名古屋学院大学大学院	福島大学大学院 早稲田大学大学院
---	---	---------------------

北京外国語大学に入学して…

世界を知れる環境で、とにかく中国語を話し、聴くことに頑張ろう

神奈川県・学校法人明德学園 相洋高等学校出身
2019年入学(28期生) 2年生



杉崎 勇介

高校生のときから中国語をやりたいと思っていた私は当初、日本の大学に進学するか北京外国語大学に進学するか迷っていましたが、日本で4年間過ごすのと、北京で4年間過ごすのを比べたとき、絶対に北京で4年間過ごしたほうが今後の自分のためになると思い、北京外国語大学への入学を決意しました。「香坂班」は中国語力がゼロでも受け入れてくれるというのも大きな決め手になりました。

私が北京に来て最初に頑張ったことは、とにかく中国語を話し、聴くことでした。授業ではできる限り発言をし、授業以外では中国人や外国人とご飯に行くようにしています。そうすることで、自分の発音を先生や友達に直してもらったり、授業では習わない日常生活のフレーズを覚えたり、異文化を知れたりして勉強になっています。私はサークルなどには所属していませんが、マジックが趣味で高校のときから打ち込んでいます。趣味のマジックで「香坂班」のみんなや外国人の方に披露してマジックのレベルを向上させ、交流の幅を広げています。マジックの練習は北京では日本にいたときよりできていないので、勉強と両立していくのが今後の目標です。

北京外国語大学に入学していちばん良かったことは、中国人だけでなく、たくさんの外国人留学生と交流できることです。私の周りにはアジアの方以外にもイタリア人などの欧米の方も多く、一緒に食事に行ったり、遊んだり、お互いの国の言語交換などをして過ごしていく中で、お互いの国やその人柄を知ることができ、日々刺激を受け、一生の友達を作れます。

最後に北京外国語大学へ入学を考えている方へ最高のスタートダッシュを切れるアドバイスを送りたいと思います。海外の大学ということもあり、高校英語は最低限必要だと思えます。できるなら中国語はピンインだけでもいいので少し学習しておくだけで、良い感じに最初のスタートダッシュが切れると思います。実際に私が感じたことなので信憑性は高いです。北京外国語大学での4年間は人生で最高の時間になると思います。みなさんと会える日を心待ちにしています。

(写真右が筆者)

北京に来て1年、中国語の授業内容を聴き取ることができるようになる

広島県・学校法人福山曉の星学院 福山曉の星女子高等学校出身
2019年入学(28期生) 2年生



三浦 充央

北京に来て1年が経ちました。夏休みに帰国しなかったのですが、今に至るまでホームシックになることなく楽しく生活しています。私は今、合唱団に所属し、授業後は合唱の練習を行ったり中国人の友達と一緒に勉強したり、祝日などの少し長い休みの日には旅行に行ったりと充実した日々を送っています。

中国に来てから明るくなったねと言われることが増えました。それはきっと自分がやりたいことを好きなだけやることができる環境があるからだと思います。

私が中国の大学進学を決めた理由は、中国の価値観で中国語を学びたいと思ったからです。授業が中国語で行われ、中国人と同じ環境で生活できる。中国の文化や考え方を知り、理解を深めるためには中国で中国語を学ぶことが最善の選択なのではないかと考えました。

実際、中国語を学ぶ環境として最適であると感じています。それに授業で習ったことを実際に使う機会が身近にあります。日本にいたらインプットだけで終わってしまいかねない授業内容も、中国で生活すると日常生活の中でアウトプットする機会がたくさんあります。

日本語を学んでいる学生もいるため、ランゲージパートナーを作ることも可能です。私も週に1回相互学習を行っています。彼女は大学院生で、日本語を流暢に話せるので、私は主に彼女の作文の添削をし、彼女は私の中国語の発音矯正をしてくれています。また中文学部で毎週開催されている、中国人と中国語を学ぶ留学生同士が交流を行う「漢語角」には必ず参加し、会話力の向上を心がけています。外国語大学なので他国の留学生も多く、中国語以外の言語を習得することもできます。自分の行動次第で環境を最大限活かし、言語を習得することができると思います。

私はハーフでもなく、日本での中国語学習経験はありません。入学当初、「你好」「谢谢」しか話せず、もちろん先生の話す言葉もまったくわかりませんでした。しかし今では授業内容を聴き取ることができるようになり、つい先日 HSK 5級の合格水準に達することができました。

中国で中国語を学ぶことで語学だけでなく、文化や風習に対する理解が深まると思っています。ぜひ皆さんもここ北外で中国語を学んでみませんか。

全国から来ている日本人と交流ができ、親元を離れ自立できる留学生活

北海道・学校法人北星学園 北星学園大学附属高等学校出身
2019年入学(28期生) 2年生



相坂 翔太

北京での生活も1年以上が経ちました。ここでの生活は思っていたよりも過ごしやすく、とてもいい環境です。周りには中国人ばかりでなく、さまざまな国籍の人がいます。寮や課外活動はもちろん、食堂や学校の廊下でもそういった人たちとコミュニケーションする機会があります。中国語だけでなく、英語や韓国語を身に付けることもでき、さらなる語学力の向上につなげることもできると思います。

ここで生活で私が最も頑張っていることは、もちろん中国語の勉強です。日本で中国語を学んだことがなかったため、入学当初は授業で先生が何を話しているのかまったく聞き取ることができませんでした。しかし、日々勉強し、積極的に中国語を使い、たくさんの中国語を聞いていくうちに、少しずつ聞き取れるようになってきました。今では、食堂で中国語を使って注文をしたり、友達と中国語を使って WeChat (微信) でやり取りをしたりすることができます。

勉強以外にサッカーも頑張っています。小学校から高校にかけてサッカーをやっていて、今は、北京外国語大学のサッカーチームに所属しています。外国人と一緒にチームになって試合をしたり、国対抗の試合をしたりと留学ならではの貴重な経験ができています。北京外国語大学はサッカーだけではなく、さまざまなスポーツ環境が充実しています。体育館にはジムやプールもあり、クラブチームに入らなくとも体を動かし運動することができます。

入学してよかったことの一つ目は、全国から来ている日本人と交流ができることです。留学生は北は北海道から南は沖縄まで多くの都道府県から来ているので、方言や話し方が少し違ったりして、日本語にもこんなに知らない語句や特徴があることを実感しました。僕は北海道人で、自分の話し方にそんなに特徴はないと思っていましたが、北海道以外の人と話したときにその言葉は何と言われ、北海道でしか使わない言葉が身に付いているんだと驚きました。そういった話で盛り上がりたりして留学初日から多くの人と仲良くなることができました。二つ目は、親元を離れ自立できることです。中国に来たら自分でご飯を作ったり洗濯したりしなければなりません。日本にいれば親が洗濯をしてくれてご飯を作ってくれて当たり前だったのが、中国では当たり前ではなくなるので、親のありがたみをいっそう感じるができます。

中国に来て思ったことは、中華料理がおいしいことです。日本にいたときはそんなに中華料理が好きではありませんでしたが、本場の味はやはりおいしく、特にチャーハンがすごくおいしかったです。(写真右が筆者)

日本語をまったく使わない日も多くなり、中国語で夢を見たりする

東京都・学校法人晃華学園 晃華学園高等学校出身
2018年入学(27期生) 3年生



丹羽 沙也加

北京外国語大学に入学してから2年経った今、私は北京に来て大学生活を送ることができて本当に良かったとしみじみ実感しています。特に明確な目標もなかった私は、中国語を学んで将来の可能性を広げたいという一心で、「香坂班」への留学を決意しました。北京に来たばかりのころは中国語がまったくわからず不安もありましたが、北京での生活は想像以上に快適で、中国の発展や勢いに圧倒されながらも、すぐに慣れることができました。

1年生のころから私がいちばん意識していることは、毎日の授業をしっかり聴く、ということです。当たり前の話だと思うかもしれませんが、授業中にいかに吸収できるかが言語の学習においてとても重要だと感じています。日々の積み重ねによって、自分でも驚くほど身に付いていくものです。実際、私は1年生の10月ごろには、先生の授業中のお話がほぼ理解できるようになりました。ひたすら単語だけ発していた半年間に比べ、自然に会話のフレーズが出てくるようになり、中国人の友達と会話が弾めば弾めほど中国語学習に対するモチベーションもどんどん上がっていききました。

学業の他に、私は休みの期間を使って中国のさまざまな場所に旅行に行きました。内モンゴル、上海、桂林、天津、張家界、青島など、中国の北から南まで多くの都市を訪れました。ときには寝台列車で約20時間かけて行ったこともあります。旅行先で外国人と中国語でいろんな話をするのができるのも楽しみの一つとなりました。

2年生になり、私はいろいろな活動に自主的に参加するよう心がけるようになりました。アジア文化カーニバルの開会式に日本の浴衣を着て参加したり、国慶節には中華人民共和国成立70周年記念の式典にボランティアとして参加したりしました。中国の文化や伝統に触れ、今まで知らなかった中国のことをさらに奥深く知る貴重な経験となりました。

今では、日本語をまったく使わない日も多くあり、中国語で夢を見たりするようにもなりました。北京外国語大学での留学生活は、自分次第でいくらでも可能性を広げられる環境にあると確信しています。先生方、周りの友人たち、そして両親への感謝の気持ちを忘れずに、残りの大学生活も日々努力し続けたいと思います。

中国語で中国人メンバーにアドバイス、留学に来て人見知りだった自分が変わった

東京都立東大和南高等学校出身
2018年入学(27期生) 3年生



藤野 琳

北京外国語大学に入学して2年が過ぎました。もう中国にも慣れ、新しいことを勉強しながら充実した毎日を送っています。まったく中国語が話せず、聞き取ることが精一杯だったのに、今では生活にはまったく影響がないくらい楽しく過ごしています。

私は小学生のころから高校までバスケットボールをやっていた経験を生かして、2年生から中文学部バスケットボールのサークルに参加し、中国人との交流を図っています。最初は現地の中国人の速い中国語が聞き取れなかったり、バスケットボールで使われる用語が英語ではなく中国語だったり、なかなかチームのメンバーと話せず、萎縮してしまうことが多かったです。しかし、2年生の後期から北京外国語大学内で行われる学部対抗の大会に参加し、毎日のようにチームのメンバーと関わり、話していくにつれて、メンバーとの仲も深まり、自分も積極的に会話に参加するようになりました。今では中国語で中国人メンバーにアドバイスをしたりできるようにもなりました。また練習がない日はチームのメンバーと遊びに出かけたり、お互いの誕生日を祝うためにご飯を食べに行ったり、普段も中国語を使って交流しています。

大学生活は自分がやりたい、挑戦してみたいことを何も考えず精一杯チャレンジできる最後のチャンスだと思っています。中国に来たばかりのころはまったく中国語が話せず、聞き取るのも精一杯だった自分も今はこうやって中国の大学で勉強し、外国人と交流できています。人見知りだった自分が変わったのも北京外国語大学に留学にしたおかげだと思っています。

みなさんも今から知識を増やし、視野を広げ、自分を変えられることができると思います。勇気を出して留学に来れば、きっと充実した生活が待っています。それを実際に体験して欲しいです。

留学生活はいろんな交流の機会にあふれています

沖縄県立首里高等学校出身
2018年入学(27期生) 3年生



宮城 陸

こんにちは。北京に来てもう2年が過ぎましたが、ここでの生活は毎日驚きと発見の連続です。町を歩いていると、未だに知らない単語に出くわすことが多々あります。中国語を学ぶ上で、やはり現地に赴くというのは何事にも変えがたい経験になるのではないかと日々感じています。

私はまだ特定の中国人の友達が少ないですが、北京外国語大学では毎週昼休みに1時間中国人の学生たちと自由にお喋りする機会が設けられています。留学環境は言語を学ぶことにも友達を作ることに、その機会を得るには事欠きません。

また、北京外国語大学ではさまざまな課外活動がなされています。部活、交流会など、その内容はさまざまです。私も以前はテコンドークラブに属し、たくさんの仲間とともに汗を流しました。端午節(中国の祝日で、粽子と呼ばれるちまきを食べる日)にはその仲間たちと一緒に粽子[粽ズ]を作って食べたりもしました。他にも、隣人たちと一緒に大学内で開催された劇を観に行ったり、大学から少し離れたところでカーリングをしたり、休日には郊外へ遊びに行ったりもします。今は日本人によるリーグの、ある野球チームに属しており、日々練習に精を出しています。

そして、私たち「香坂班」の有志が主催者となって毎学期に1回、新入生歓迎会を開いています。北京外国語大学だけでなく、いろいろな大学からたくさんの人が参加するので、毎回参加人数は100人近くに及び、大変盛り上がります。日本人はもちろん、中国人もたくさん来るので、交流の幅が広がること間違いなしです。

このように、北京外国語大学ではさまざまな交流の機会があります。関わろうと思えば、いろんな人と関わり合うことができます。また授業は中国語だけで進んでいくので、進歩も速いと思います。北京外国語大学に来て、絶対に後悔はしないと思います。一緒に北京生活を楽しみましょう!

中国語を知らなくても一歩踏み出す勇気さえあれば、新しい世界が広がっています

素晴らしい先生と学生、私の選択は間違っていなかった

2017年入学(26期生) 山梨県立甲府南高等学校出身 4年生



佐藤 世舞

皆さん、こんにちは。北京での留学が始まってから3年が経ちました。北京留学を考えている方、興味のある方に、私の実際の経験を交えながら少しでも魅力をお伝えできたらと思います。

私は北京に来た当初、「ニーハオ」と「シェイシェイ」しか中国語を知りませんでした。皆さんの中にもそのような方がいるのではないのでしょうか。まったく言葉が通じないところに飛び込むのは、少し期待もありましたが、やはり恐いし不安だったというのが正直な気持ちです。しかし、北京で生活していくには嫌でも中国語を使ってコミュニケーションをとらなくてはなりません。簡単な言葉から徐々に覚えて、それが相手に伝わると、もっと中国語を喋れるようになりたいというモチベーションにつながっていきます。

日本にいたら中国語を勉強できないというわけではありません。ですが、生活していく中で中国語の勉強ができるというのが留学の大きなメリットだと思います。「生きた中国語」をいつでも聴くことができる環境は日本では決して手に入れることはできません。また、北京外国語大学には世界各国の学生が学びに来ています。そんな彼らと交流できることも大きなメリットであり、魅力でもあります。部屋から一歩外に出れば学生たちがさまざまな言語でコミュニケーションを交わっています。日本にいたら出会わなかった国の留学生との交流はすごく良い刺激になります。中国語の上達を感じたときはもちろんのこと、中国人の皆さんや、外国人留学生に日本の魅力を伝えられたとき、逆に日本の家族や友人に中国の良さを伝えられたとき、私は留学に来て良かったと感じます。そして、それが「中国と日本、また世界と日本の架け橋になりたい」という今の私の夢にもつながっています。

北京留学について皆さんに知ってもらいたいことはまだまだあります。ここで話したことはほんの一部にすぎません。今まではまったく違う場所で生活することに不安を感じるのももちろんです。しかし、一歩踏み出す勇気さえあれば、そこには新しい世界が広がっています。多くの仲間もいます、一人ではありません。たくさんの可能性を秘めている皆さん、北京で待っています。

2017年入学(26期生) 国立大学法人・筑波大学附属高等学校出身 4年生



村岡 未都

私が中国に興味をもち始めたのは高校生のときです。1週間ほどの北京訪問で、北京、そして中国の良さを知りました。当時は第二外国語の授業で中国語を少ししかじただけで、現地ではまったく使いものになりませんでした。いつかは中国語が上手くなって中国に留学して、日本と中国の交流に携わることができたらなと思っていました。

とは言え、最初は4年間留学することなど考えておらず、日本の大学受験に失敗して浪人するよりは、と思って選んだだけの大学でした。入学当初は国内外の一流大学に進学した高校同期と自分を比べてしまい、劣等感ばかりが募ったこともありました。ここにも素晴らしい先生と学生がたくさんいて、日本にいたら体験できないようなことをたくさん体験できたので、現在は私の選択は間違っていなかったと思っています。

3年生になってからは中国語コースを選択し、教科書には四字熟語が増えて内容も難しくなりましたが、日本や韓国のクラスメイトと和気あいあいとした雰囲気の中で授業を受けました。成績が良いと奨学金をもらうこともできるので、勉強を続けるモチベーションの一つになると思います。中国語の会話を鍛えたいときは「漢語角」という活動で中国人学生や他の国から来た留学生といろいろな話題について討論することができたり、単語量を増やしたいときは図書館で本や新聞を読むこともできます。

1年生のときから学校の合唱団に入っています。当初は自分以外の部員全員が中国人で、私がまだあまり中国語が話せないときから仲良くしていただいています。今はもう3年が経ちましたが、学期ごとに行われる大きな発表会に参加することをはじめ、課外活動の一環として中国中央テレビのスタジオで番組を収録させていただいたり貴重な体験をすることもできました。仲の良い日本人の後輩もできました。

あと1年では足りないくらい充実した生活を送っていて、日本に帰るのが寂しくも感じます。残り少なくなりましたが、後悔のない留学生活を送っていきたくです。

春



【国際嘉年华】国際嘉年华と呼ばれる留学生の文化祭。さすが北外、グローバルな大学です。



【入学式・市内観光】初めて会った香坂班の仲間と入学式・市内観光へ。新しい仲間との大学生活が始まりました！



【グローバルな交流】中国の学生や外国の学生との交流は本当に楽しいです。



【国内旅行】夏休みを利用して友達と中国国内を旅行。授業で勉強した中国語を使うように頑張りました！

夏

秋



【サークル・課外活動】学部や大学を越えてさまざまな人との出会いがあります！



【万里の長城】観光】学校のイベントで世界遺産「万里の長城」へ！スケールが大きくてビックリです。



【香坂班の仲間】もう1年生が終わろうとしています。香坂班の仲間と一緒に、残りの留学生活も楽しみます！



【漢語角 (中国語コーナー)】毎週木曜日のお昼は中国人と留学生の交流イベント「漢語角」で中国語力を伸ばしています。

冬

卒業生からのメッセージ

たくさんの経験を積むことが未来のチャンスを増やす

東京都・学校法人杉並学院
杉並学院高等学校出身
2020年卒業（25期生）



吉永 真愛

私が中国に留学を決めた理由は、ただ単純に「自分の可能性を広げ、将来、皆とは違うフィールドに立って活躍したい」と思ったからです。中国語ゼロスタートの私は、実際に中国に来てからは授業についていけず、寝る時間を惜しんで毎日、予習・復習をしていました。勉強に慣れてきてからは、交流にも力を入れるようにし、学校代表のバドミントンチーム、日中交流ボランティアなど、さまざまな活動に積極的に参加し、自分の限界を決めないようにしました。なぜなら一つ経験すること、自信になっていくからです。4年間で、中国語を身に付けるだけでなく、中国全土に300人以上の友人を作ってネットワークを広げると同時に、中国の文化や思想、生活習慣など、さまざまなことが理解できるようになりました。

中国はとにかくスピードのある国です。技術面ではまだまだ日本に負けていると思われている人がありますが、今では製造・物流などの各分野でイノベーションが進んでいて、正直日本より便利なきっかけが多く暮らしやすいです。それに比べ今の日本社会は固定観念に縛られすぎていて変化を恐れている人が多いのも現状で、今までになかったものを柔軟に受け入れるという仕組みが浸透していないと思います。日本社会をリニューアルさせるためには、今後の若者の在り方が非常に重要で、世界を俯瞰的にみる力のある人材がさらに必要になってくると思います。

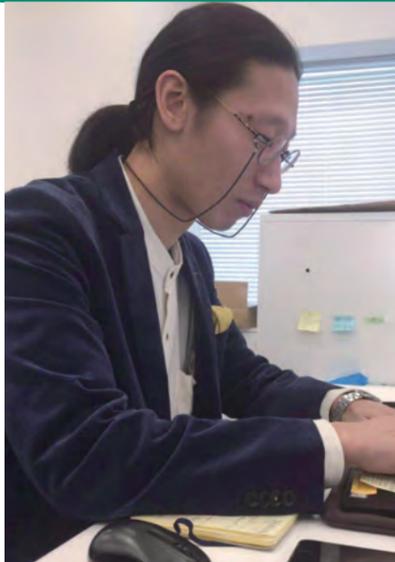
就職についてですが、私は卒業後、百貨店に総合職として勤めることになりました。中国語ができるからといって企業は採用してくれません。留学での経験、自分の価値観をどう築き上げてきたか、この過程、努力を見られるのです。留学した以上、自分が置かれた環境に満足するのではなく、常に上を目指して自分の殻を破り続けていく必要があります。

そんな私は将来、日本社会の国際的競争力向上に向けて、中国留学で培った自由な発想、考えをもってグローバルに活躍していきたいと思っています。4年間の留学生生活を終えた今も、日本人の中国人に対する偏見がぬぐえていない人もいるのが現状です。しかし、中国で起きていることを連続的に、背景も含めて伝えていくことが自分自身を変えていくきっかけにもなると考えています。

この4年間を通して悔しかったこと、辛かったこと、将来それらを振り返ったときには自信となって、未来への原動力になると私は信じています。いろんな経験をすることで他の人の経験に差がつき、実力がつき、チャンスの数も差がついていくと思いますので、皆さんにも悔いのないよう、たくさんの経験をしてもらいたいと思います。

就職後の研修の中で、留学が生きる瞬間を感じる

埼玉県立所沢北高等学校出身
2019年卒業（24期生）



渡部 光一郎

私が北京外国語大学に留学した理由は、もともと海外に興味があったということが挙げられる。どの大学に行っても留学しようと考えていたこともあり、受験で希望の国立大学に合格できず、それでは留学だと考えた。その中で中国を選んだのは、母親が中国人であるにもかかわらず、私自身は中国語が話せなかったということもあるが、それ以上に中国語の需要が今後はさらに増大すると考えたからだ。そしてインターネットで調べて出てきた北京外国語大学に留学することに決めた。

留学中は勉強はもちろん、旅行、遊びにも力を入れた。そして服が好きでファッションに興味があった私は、卒業後、オンワード樫山という大手アパレル会社に就職した。仕事内容は、当社がもっている各ブランドの運営、アパレルの企画から生産、営業、販売と、トータルに行くことである。私は現在まだ研修中の立場にあるため、2か月ごとに各部署を回って各ブランドを知り、各部署の仕事を勉強させていただいているところである。その中でも、留学した経験が生きる瞬間がある。

まず一つに、中国語と日本語の通訳や翻訳である。店舗での販売研修時に中国人のお客様が来た際の通訳を行ったことが何度もあった。また企画部署にいたときは、店頭で置くチラシ、広告とネットショッピングサイトの中国語訳を行った。各所でインバウンド需要が増す今日、ファッション・アパレル業界でも数年前から継続して中国人の購買客が増えているため、このような機会が多かった。新入社員であるにもかかわらず頼られることが多く、これは北京外国語大学での留学経験が活かしているいちばんのポイントだと言える。

次に、中国に4年間いたという経験自体が挙げられる。上海や香港にグループ会社、大連に自社工場をもっている当社では、中国を深く知っているというだけで優位点になる。先輩方との話で盛り上がるのはもちろん、当社は2月末に研修を終え配属先が確定するのだが、ありがたいことに、当社の生産部署、上海のグループ会社、中国マーケティングに関するグループ会社から声をかけていただいている。当社だけではなくだろうが、就活中から就職後まで中国留学経験者の需要が依然として増していると言える。

私は北京外国語大学に留学してよかったと考える。留学していなかったら、語学的知識はもちろん、海外に対する深い知識、海外経験やバイタリティは得ることができなかった。今の自分を育ててくれた北京外国語大学に感謝し、今後とも仕事に注力していきたい。

卒業生からのメッセージ

北京で受けたサポート、今度は自分の学生に提供したい

高知県立高知西高等学校出身
2013年卒業（17期生）



岡宗 櫻

2013年1月に卒業後、東京にある日本語学校で働き始めました。日本語学校と言っても、あまり聞き馴れない業界かもしれませんが、来日した外国人留学生に日本語教育をする機関です。私は、教職員の方ではなく、事務職員として働いています。事務職員の主な業務は、日本へ留学に来たい外国人留学生に代わってビザの申請、来日後のビザの更新や生活指導です。

私がこの仕事を選んだのは、4年間一生懸命学んだ中国語を思う存分発揮したいという気持ちがあったからだけでなく、北京外国語大学で4年間私たちのお世話をしてくれた北京外国語大学の先生方、東京事務所の理事の方や北京在住の駐在員の存在が大きかったからです。今でも鮮明に覚えています。初めて北京に降り立ったとき、右も左もわからない不安いっぱい私たちに優しく声をかけ、親身に私たち一人一人に声をかけてくれました。そのおかげでいろいろ心配だったことも解け、少しずつ北京での生活に馴染んでいきました。それだけではなく、何かあるとすぐに駆け付けてくれたり、勉強面や生活面で相談ののってくれたりもしてくれ、24時間の献身的なサポートをしていただきました。現在、従事している日本語学校の仕事も北京外国語大学東京事務所から頂いた求人、すぐに興味を持ちました。自分の留学経験を活かし、日本に来て勉強や生活で困っている留学生たちのサポートをしてあげたい、誰かの役に立ちたい、そして学んだ中国語を活かしたいという気持ちで応募しました。今ではこの仕事に従事して7年目になります。大変なことたくさんありますが、学生から「ありがとう」と満面の笑顔で言われると疲れが吹飛びます！こんな風に学生に親身になれるのも、留学時代に学生一人一人に親身になってくれた、大学の先生や東京事務所の理事の方や駐在員の存在があるからです。私自身、この仕事についてやっと本当の有難みを知りました。

そして、大学4年間でかけがえのない友にも出会うことができました。苦楽を共にしてきたからこそわかる信頼感や安心感は、卒業して10年たった今も変わりません。今でも定期的に集まって、社会のあれこれを語ったり、愚痴をこぼしたりしています。何かあると真っ先に相談するのはやっぱり大学で出会った友人たちです。この縁をこれからも大事にしていきたいと思っています。

北京留学をご検討されている皆さん！私は、大学の貴重な4年間を「香坂班」に身を委ねてよかったと思っています。日本では体験できない経験や異文化交流に触れることができました。中国はこれから進化し続けていく可能性が大いにある国だと思います。そんな中国の進化を自分で実際に体験してほしいです。

チャレンジしたからこそ培った適応力。皆さんも自分から行動を！

岩手県立不來方高等学校出身
2010年卒業（15期生）



村山 由華

高校生の頃、たくさんの選択肢がある中で、なぜ北京外国語大学香坂班を選んだのか、今ではあまり覚えていません。しかし、留学を決意したときの自分をほめてあげたいほど、北京での4年間は素晴らしいものになりました。

もちろん、大学生活は楽しいことではありません。辛い思いや、悔しい思い、悲しい思いもあり、たくさん涙も流しました。ただ、そのような感情を日本ではなく、北京で経験できたことは、本当に良かったと思っています。家族のように寄り添ってくれる「香坂班」の仲間がいつも支えてくれたからです。本気でケンカをしたことも、今では笑い話です。留学前はあれこれ不安もありましたが、自分で思っていた以上にどうやら環境への適応力があつたらしく、言葉が通じないことを除いては、生活で困った記憶がありません。

大学卒業後に日本で1年間働いた後、北京外国語大学に3年半駐在をしましたが、北京を離れていた1年間と、駐在中の3年半の間に街は大きく発展し、非常に生活がしやすくなりました。それを考えると、留学中の北京はまだ途上国らしさを残しつつ、ごみごみした街並みと、なんとも言えないニオイが満ちていて、ただ生活をしているだけで、日本では経験ができないような毎日を過ごしていました。

現在は、中国とは関係がない調査研究の仕事をしています。大学の4年間で培ったさまざまなことに支えられています。予定どおりに業務が進まなくても、想定外のことが起こっても、変な人に会っても、中国で起こる突発的なことに比べたら、大したことはありません。

業務の視察でホテルもコンビニもタクシーもない、人口2,500人程の離島（日本国内）に行ったとき、全く予定どおりにいかなくても楽しみながら対処することができました。

大学の4年間は、何もしなければあつという間に過ぎ去ります。今になって、もっと各地を旅行すれば良かった、勉強をして資格を取れば良かった、もっと思いっきり遊べば良かったと思うことがあります。

これから北京外国語大学に入学をする皆さん、在校生の皆さん、どうか悔いの残らない、輝かしい大学生活をお送りください。留学さえすれば何とかなる！というのは間違いで、自分から行動しない限り、どうしようもない4年間になります。

つまづいたときには、「香坂班」の先輩たちが手を貸します。失敗を恐れずに、どんどんチャレンジをしてください。

Campus life

北京外国語大学は、中国の政治と経済の中心である北京の西北に位置し、勉学に最適な落ち着いた環境の中にあります。公園と見まがうばかりの広い緑に包まれたキャンパス。その中に点在する校舎や宿舎。外国語学部では101言語の外国語教育を行っているため、キャンパスは世界各国の若者たちでいっぱい。ひと声かけるわずかの勇気さえあれば、世界各国の留学生の中から一生の友人が得られることも。また、先生や職員の方たちもキャンパス内に居住しています。

旅行

北京外国語大学のある首都北京は、中国を代表する大都市です。中国の国土は広く、風光明媚で雄大な自然遺産や歴史的文化遺産は多く、そのスケールの大きさに魅了されます。旅費はかなり安く、夏休みや休日を利用して、学友を誘い合つての旅は格別です。



クラブ活動

北京外国語大学は、同好会やクラブ活動が盛んです。スポーツ系のサークルでは日々、学生たちは青く広がる空の下、心地よい汗を流しています。他の学部の中国人学生、多くの国からの留学生と一緒に活動は国際性を育てるよい機会なので進んで参加しましょう。



世界各国の留学生たちと過ごす、充実のキャンパスライフ。

仲間

キャンパスで出会うたくさんの仲間たち。校内で語り合ったり、食事をしたり、一緒に旅行をしたり、その楽しさは世界共通です。4年間で知り合う多くの国から来ている留学生は、自分の将来へとつながる生涯の宝物となるでしょう。



留学生寮での生活

4年間の留学生活は白楼（西院）、国交楼（東院）、または1号楼（東院）の個室が拠点です。各個室には電話もつき、インターネットの接続も可能です。教室は国交楼隣接の建物です。広いキャンパスの中で、中国人学生やアジア、欧米からの留学生との付き合いも始まります。食事は校内の一般学生食堂で3食ともとることができます。その安さとボリュームに圧倒されるはずです。



北京外国語大学 中文学部 東京事務所 Twitter ▶ @bfsu_kousaka

東京と北京から、受験生に役立つ情報を発信中！
現役留学生たち（香坂班）の、日々の出来事や学校・街の様子などのフレッシュな情報を随時更新しているので、現地のリアルなキャンパスライフを感じることができます。もちろん受験情報や、北京情報も掲載中。現役の学生の投稿もあるかも！

Twitterでもっと「香坂班」を身近に

最新の説明会
情報をチェック

北京での現役学生
たちの日常をチェック

香坂班に関する
アレコレをチェック

短期留学・大学院留学のご案内 ▶

北京外国語大学・中文学部では、半年～2年の短期留学を年2回募集しています。高卒資格者で60歳までと、幅広い年齢層に対応して、各留学生のレベルに合わせた講義を受けることができます。留学中は、本科生と同等のサポート体制をとっています。また、大学院博士課程前期・後期の留学生も募集しています。

大学生の海外体験

資格取得をめざす

転職中のスキルアップ

詳しくは下記までお問い合わせください。

北京外国語大学
中文学部 東京事務所

03-3363-0578

歴史と新しさがせめぎあう街

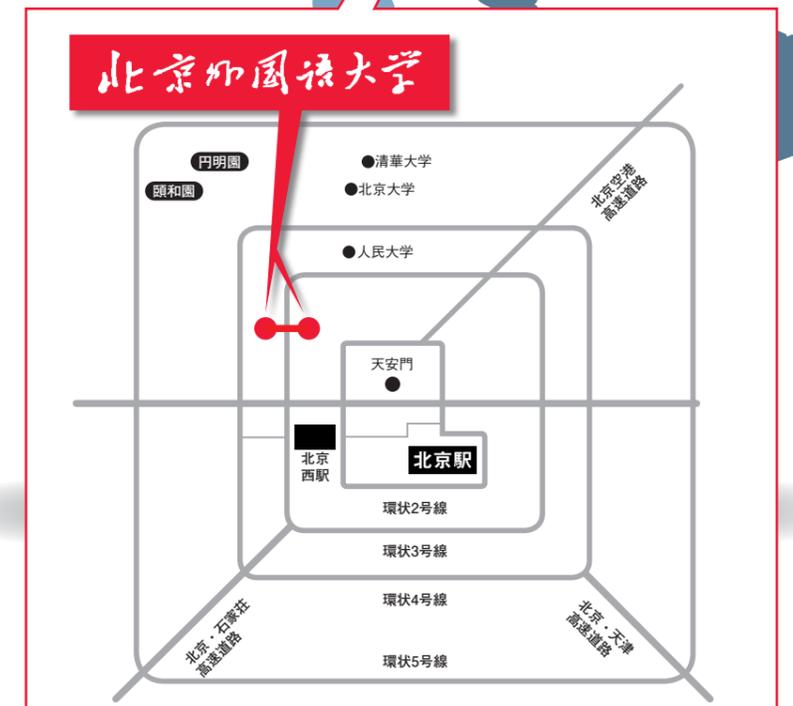
北京

Beijing

北京(ペキン)は、中華人民共和国の首都、中国の文化・政治の中心です。国の直轄市。国の東部、河北省の中央部に位置しています。古くは燕京・北平・大都ともいわれました。面積約1万6411km²、人口約2153万6千人(2019年)。広さは日本の四国に相当します。行政機能が集積している他、紫禁城や天安門広場、庭園、古くからの街並みである胡同などがあり海外からの観光客も多く訪れる都市です。2008年には夏季オリンピックが開催され、街は現在も発展を続けています。
(写真提供は中国国家観光局駐大阪代表処)



北京市の基本情報	
面積	約1万6,411km ²
人口	約2153万6千人(2019年)
GDP	約23,800ドル/人(2019年)
行政区	16区 東城区 西城区 海淀区 石景山区 朝陽区 密雲区 丰台区 通州区 房山区 順義区 門頭溝区 昌平区 大興区 平谷区 懷柔区 延慶区
友好都市	東京(1979) ニューヨーク(1980) ソウル(1993) ハノイ(1994) モスクワ(1995) パリ(1997) ローマ(1998) など 55都市



北京師範大學

中華人民共和国 〒100089
北京市海澱区西三環北路二号